

依頼者・依頼団体の方へ

N I C 語学ボランティア制度をご利用いただく前に（お願い）

このたびは、N I C 語学ボランティア制度をご利用いただき、誠にありがとうございます。
趣旨をご理解いただいたうえで、事前の準備、調整にご協力をお願いします。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

*NIC=Nagoya International Center

●N I C 語学ボランティア制度とは？

ボランティアは、言葉や習慣の違いによって生まれる不安や緊張を和らげ、コミュニケーションを円滑にして、外国の方々が安心して暮らすことができる環境づくりをお手伝いします。

●ボランティアはどんな人？

“日常会話程度以上の外国語能力をお持ちの方”という条件で、登録をいただいています。
「海外滞在中に多くの方々にお世話になったから」「市役所の手続きで外国人の私も心細い経験をしたから」「子育て中や定年後の時間を活用したいから」などの動機はもちろん、言語レベル、ボランティア経験は様々です。家庭や仕事など忙しい中、できる範囲で活動をしていただいています。*ボランティア登録は、通訳や翻訳をするための専門的資格とは関係がありません。

ご注意) ボランティアの通訳・翻訳活動内容から生じるトラブルについては、ボランティア及び当センターは一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

●困ったときはN I C にご相談を！

N I C にはポルトガル語・スペイン語・中国語・ハングル・フィリピン語・フランス語・ベトナム語・英語の話せる職員がいます。情報提供や相談事業（教育・行政・法律・こころ）などを行っておりますので、語学ボランティア制度とあわせてご利用ください。

お願い) ボランティアに精神的負担がかかる場面、厳密な正確性が求められる場面、高度な専門性が求められる場面、交渉に関する場面での通訳・翻訳は、活動対象外です。

例：活動内容・目的・対象が不明確／活動時間が長時間にわたるもの／面接や試験など判定を伴うもの／研究・調査・論文に伴うもの／大勢の人への同時・逐次通訳／行政処分／布教活動／継続した依頼／公的な文書／営利目的／契約書・同意書の説明／講義内容の通訳／労働条件・保険金の支払いなどの交渉・支払の請求／手術の立ち会い／手術の際の同意書など

N I C 語学ボランティア制度 ご利用のポイント

- *ボランティアへの直接依頼は、固くお断りします（継続依頼はN I Cへ）。
- *ご利用後のアンケート提出にご協力ください（ボランティアへのメッセージ含）。

<通 訳>

□ゆとりのある時間設定

- *時間の延長が予想される場合は、その時間も含めて依頼時間としてください。
- *日本語と通訳語で、通常の2～3倍の時間がかかります。

お願い) 通訳は非常に高い集中力が要求されます。適度な休憩を入れていただくと助かります。プロの同時通訳者は、10分～15分間隔で休憩を交互にとりながら行います。

□事前の準備

- *伝えたい内容、使用する用語、配布資料、スケジュールなどを送付ください。
- *ボランティアが余裕を持って活動できるよう、表現方法などの確認を事前に行います。
- *ボランティアの負担を軽減するため、通訳方法のご提案や翻訳依頼のご検討をお願いすることがあります。

□通訳時はゆっくりと間をとって話すこと

- *専門用語は噛み砕いてお話しください。
- *ボランティアは、相手の反応をみながら、表現方法を工夫して通訳を行います。
- *ボランティアは、辞書で単語の確認をしながら、通訳を行います。

<翻 訳>

□わかりやすい文書の作成

- *長文にわたる場合は、伝えたい要点だけを抜き出していただけると助かります。
- *ボランティアから届いた翻訳文書をそのままお渡しします（内容の確認は行いません）。

☆「やさしい日本語」のすすめ～ぜひお試しください～☆

普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことを「やさしい日本語」といいます。1995年阪神・淡路大震災の際に、必要な情報を受け取ることができず、避難できなかつたり、援助を受けられなかつたりする人たちがいました。そこで考え出されたのがやさしい日本語です。

外国語がわからなくても、やさしい日本語を使うことで、コミュニケーションが容易にとれることがあります。相手の日本語レベルや言語にあわせて、「ふりがな」、「ローマ字」、「漢字」などの表記方法を工夫したり、絵を描いたりするのもおすすめです。ぜひお試しください！

例) 避難所→逃げる^にところ 震度→地震^{じしん}の大きさ^{おお} 余震→後^{あと}からくる揺れ^ゆ 津波→高い^{たか}波^{なみ}

↓↓↓こんなときは、名古屋国際センター（N I C）をご利用ください↓↓↓

世界の習慣や文化を知りたい／外国人の友人に日本語教室を紹介したい／海外旅行のための情報を集めたい
国際交流・国際協力のボランティア情報を知りたい／外国人の友達をサポートするための情報がほしい

(財)名古屋国際センター 交流協力課 多文化共生担当

☎052-581-5689 ✉vol@nic-nagoya.or.jp <http://www.nic-nagoya.or.jp>

